

進路だより 2025

第 13 号

2025年 7月 1日（ 火 ）

沖縄県立真和志高等学校

進路指導部

沖縄国際大学へ進学した元読谷高校とコザ高校卒の大学 2 年生が、同じ進路を夢見る後輩のためにトークイベントを実施！ 大学進学者とお話できる機会は、今回でラスト！ 進路決定のために活用してもらえたなら嬉しいです。



「真和志高校って面白いですね！」
自分の母校と比べて伝える大切話

2024年3月に卒業し、沖縄国際大学へ進学した元読谷高校とコザ高校の生徒。ご縁があり他校の生徒のため、トークイベントを実施！



はい、じゃあプレゼンします！

実際にこのイベントの翌日に講義で発表するプレゼンを実演。大学ではこのようなことを授業で学び、考える必要があると伝えてくれました。また、ベトナム留学でスマホをなくす話も生徒は興味津々で聞くことができていました。

閲覧ありがとうございます！

沖縄国際大学へ進学した
先輩と話そう

mawashi high school

他学校

「レポート一万字ですよ？常にテスト前
みたいな感じで過ごしています（泣）」

沖縄国際大学へ進学した元読谷高校とコザ高校の学生（現在大学2年生）が、同じ進路を夢見る後輩のためにトークイベントを実施。他学校卒業生ながらも、「いま進路に悩む生徒がいるのであれば、自分達の知識や経験を伝えたい」と真和志高校へお話をしにきてくれました。

真和志高校と他の学校の違いを伝えながら、それぞれの経験を話の軸に進んだトークイベント。読谷高校卒の先輩は、「生徒会で副会長をしていた。ただするだけではなくて、人前で話す力を身につけることを意識していた」と話し、コザ高校卒の先輩は、「テニス部でキャプテンだった。沖縄は推薦入試で良い人材を強く求めているので、進学先が求めている事と自分がやっていることをマッチさせる事に力を注いだ」とアドバイスを残してくれました。

また、面接対策として「まずは仲の良い先生と面談練習をして反省点を見つけ、その後、苦手な先生にお願いしに行った。最後は校長先生にも面接練習をお願いするなど、回数だけではなく成長を感じる必要がある」と一言。高校生は、真剣な想いに鋭いまなざしで応えていました。他にも、総合型選抜合格後の課題はどんなモノかについてや、その課題を提出しなかった先輩のやりかし話。単位を沢山落として今どうなっているのか、その背景と解決案など、キャンパスライフのリアルを伺うことができました。成功だけの話ではなく、身近に感じる失敗を聞くことで、本当にやっていけないことなのだと学ぶきっかけになったのだと思います。高校生からの質問も多く、有意義な一時間を過ごすことができました。